

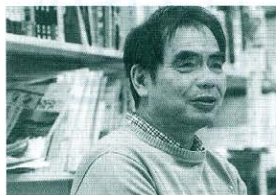
# 新評論

2014

6・7

No.249

発行所 © 新評論 2014年  
 〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28  
 TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832  
 http://www.shinhyoron.co.jp  
 e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp  
 振替 00160-1-113487 価格税抜



内山 節

青年を「哲学の苦痛」から解放してくれる哲人の思想と言葉のエッセンスがここに！〈民衆の哲学〉の豊穡な森へようこそ。

## 哲学者 内山節の世界

かがり火編集委員会 編

◆ジャンル: 哲学

青春時代、誰でも一度は哲学書を手にする。知的好奇心旺盛な青年にとつて、カントやショーペンハウエルやニーチェなどを繙くことは、豊饒な知の世界に踏み入るような昂揚感を覚えるものである。しかし、多くの青年は、観念、客体、止揚、悟性、個物、実存などの難解な哲学用語の前に屈して二度と哲学の門を叩かなくなる。簡単に引き下がらなかつた者も、「哲学の森」に分け入るにはかなりの苦痛と忍耐を要求されるようだ。

かくして哲学は、長い間、青年を苦しめてきた。青年を苦痛から救ってくれたのは内山節である。内山ほど哲学を平明な言語で語つた哲学者はいない。内山哲学は、どこを探しても取つ掛かりの見えなかつた峻嶮な高山の入り口に、いとも容易に導いてくれる。哲学は深遠なる学問ではなく、美しく生きるためにあるということを内山は教えてくれる。

「僕はこう思うんだ。哲学を学問にしてはいけない。なぜなら哲学は一方の手でつくられつづけ発展させられつづけながら、もう一方の手で壊されつづけな

ければならないという宿命を背負っているからだ。その理由は哲学はすべての人間たちの、すべての民衆のものだからだと思ふ」(『哲学の冒険』平凡社、二〇〇六年)。

戦後の東京・世田谷で生まれ、やがて激しく変貌する武蔵野の風景の中で育つた内山は、二〇歳のころより群馬県上野村に通うようになる。神流川でヤマメやイワナを追いながら、山里の労働には「仕事」と「稼ぎ」の二種類があることを発見する。

本書は内山哲学の副読本とも称すべきもので、内山本人による『自著を語る』をはじめ、自叙伝風年譜、内山哲学のキーワードを解明するロングインタビュー、内山ファンの著名人の対談やエッセイなどで構成されている。

本書は、いわば「哲学をどう読むか」についての入門書であり、哲学の世界に遊泳することの楽しさを教えてくれる。

菅原 敏一 『かがり火』 発行人

ISBN978-4-7948-0974-2

7月初旬刊

四六並製 予三二〇頁十カラー口絵八頁

予二〇〇〇円

内山 節(うちやま・たかし) 1950年生まれ。哲学者。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授、(特活) 森づくりフォーラム代表理事など。著書に『内山節のローカリズム原論』(農文協、2012年)他。『かがり火』1987年創刊の地域づくり情報誌。



ソマリア難民の子どもたちに囲まれて取材する筆者。

世界各地の戦争・災害被災地で目の当たりにした人々の暮らしと苦しみとは。報道写真の仕事赤裸々に綴るドキュメンタリー!

# フォトジャーナリストが 見た世界

## 地を這うのが仕事

川畑嘉文

◆ジャンル:報道/写真

この地球上では、数え切れないほどの人々が不自由で過酷な暮らしを強いられている。紛争やテロ、悪政など、人為的な要因によるケースもあれば、自然災害に起因する場合もある。そしてこれらの要因は、必ずと言ってよいほど貧困をもたらしている。筆者は、そうした戦争・紛争、自然災害の被災地などで、人々がどのような苦難に直面しているかを、写真を通じて多くの人に知らせることを仕事としている。

二〇一一年九月一日、ニューヨークは地獄絵の様相を呈した。そのとき筆者は、市内にある出版社に勤めていた。それゆえ、その現場をカメラに収めることができた。そして翌月、タリバン政権が国際的なテロ組織アルカイダを匿っているとして、アメリカ軍はアフガニスタン攻撃を開始する。タリバン政権は崩壊したものの、長く続いた紛争や干ばつが影響し、アフガニスタンの貧困はアジア最悪の水準まで落ち込んだ。筆者が初めてアフガンに入国したのは、カブールが陥落した数か月後のことである。そこで見た現状とは……。

また二〇一〇年、アメリカ大陸最貧国

のハイチでは、未曾有の大地震によって多くの人々の命が失われた。行政がほとんど機能しなかったために二〇万人以上の人が亡くなったのである。そこで目の当たりにした震災の現場とは……。

二〇一一年の東日本大震災の際も、直後に現地へ赴いて写真を撮った。こうして、日本人が普段考えている「豊かさ」とは遠くかけ離れた生活を送る人々の姿に触れながら、フォトジャーナリストとして一体何ができるのか、フォトジャーナリストの使命とは何かを日々探究し続けている。

しかし、こちらの生活も決して豊かなものではなく、悩みは尽きない。「地を這う」仕事をめぐる葛藤も含め、自分をさらけ出しながら、「フォトジャーナリストという仕事」について綴ってみたのが本書である。さまざまなメディアで日常的に目にする報道写真がどのように撮られているのか、またその裏側に何が潜んでいるのかを、本書を通して考えていただければ幸いである。

(かわばた・よしふみ)

ISBN978-4-7948-0976-6

7月上旬刊

四六並製 予二四〇頁 予二二〇〇円

著者 ペンシルバニア州立大学卒業後、ニューヨークの出版社や東京の撮影事務所を経てフォトジャーナリストとなる。難民キャンプや戦争・災害被災地での取材を行っている。2014年、5枚組写真「シリア難民の子どもたち」がJPS日本写真家協会主宰コンテストで金賞を受賞。



大きな構造変化の下で、いかに「新たな豊かさ」を創出するか。  
地域に分け入り、人びとの「希望」に学ぶフィールドノート第7弾。

## 地域産業の「現場」を行く

誇りと希望と勇気の30話

### 第7集 変わる「豊かさ」の意味

関 満博

◆ジャンル:地域産業

リーマンショック(二〇〇八)、東日本大震災(二〇一〇)、そして中国の対日デモ(二〇一〇)と、この五年ほどは日本の経済社会に大きな影響を与える事象が相次いだ。九〇年代初頭のバブル経済崩壊以降、縮小に身を委ね、「失われた二〇年」をやり過ごしていた私たちは、成熟した経済社会、人口減少、少子高齢化、さらにグローバル化といった新たな構造

条件の下で、「新たな豊かさ」を獲得していくためのあり方を問われている。

この五年前後の「地域」の現場で最も目立つのは、「六次産業化」の取り組みである。各地の若くて意欲的な担い手は農業の大規模経営による効率化を進め、他方、女性たちは加工・直売等による付加価値の向上を視野に入れている。また近年、これまで衰退産業とみなされてい



秋田県男鹿市、諸井醸造所でのしよつつるの製造風景。伝統の味がいま世界で注目されている。

た水産加工業の領域で新たな取り組みが開始されている。冷凍・冷蔵技術、物流・販売・通信技術といった供給側の技術革新の進展、そして需要側の成熟化・少子高齢化に伴う個食化などの事情が顕著となり、地域の農林水産業において新市場が急速に開けてきたのである。

一方、日本のモノづくり系産業は八〇年代後半から一気にアジア・中国展開を重ねてきた。従来の繊維・日用品、電気・電子に加え、最近では自動車産業の海外

生産も増加している。こうした新たな条件の中で、「国内に残る」道を含め、進むべき方向が次第に鮮明になりつつある。

このような近年の動向をとらえる際の最大のポイントは、「地域」の意味の重大性が高まってきた点にある。成熟化と高齢化に伴い、縮小経済の段階に入った時代においては、人びとが暮らす「地域」を丁寧に見て、地域資源(自然・人的)に深く着目した取り組みを行うことが不可欠となる。「域外から所得をもたらす産業」「雇用の場を提供する産業」、そして「人びとの生活を支える産業」の意味が大きくなるのである。シリーズ七冊目となる本書では、このような視点に立つて各地の取り組みをみていく。そこから多様性に富み、そこに暮らす人びとに「希望」をもたらす地域産業のあり方が浮かび上がるであろう。(せき・みつひろ)

ISBN:978-4-7948-0973-5 7月刊

四六並製 予二五六頁 予二四〇〇円

地域産業の「現場」を行く

誇りと希望と勇気の30話

【既刊第1~5集】①二二〇〇円 ②③④⑤⑥二四〇〇円

好評 6次産業化と中山間地域

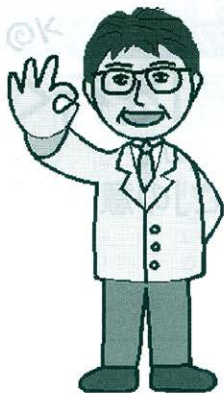
【日本の未来を先取る高知地域産業の挑戦】

五五〇〇円

関満博編

著者 1948年生まれ。明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授。博士(経済学)。東日本各地の震災復興・産業再生にアドバイザーとして携わる。代表作『東日本大震災と地域産業復興Ⅰ~Ⅲ』『鹿兒島地域産業の未来』のほか、『震災復興と地域産業 1~5』など編著書多数。

今やアパマン経営者にとって救世主と言っても過言ではない法人化。本書ではアパマンの法人化に関するノウハウと共にデメリットについても全てオープン。



改訂増補版

# アパマンも 法人経営の時代です!

デメリットについても具体例で徹底解説

公認会計士・税理士 鹿谷哲也

◆ジャンル:アパマン経営・相続税対策・節税

アパマン経営といえは、今までは個人経営が圧倒的に多かったのであるが、最近になって法人経営が急増している。このことは様々な所でセミナーが開催されたり関連著書が出版されていることから裏付けられる。

ところで法人化の最大のメリットは個人経営の場合よりも不動産所得に対する税金が少なくなることにあるが、法人経営の場合には様々なコスト(不動産取得税、登録免許税、借り換えに伴う違約金、会計事務所報酬等々)がかかるし、相続税に至っては逆に増税になるケースも多々ある。にもかかわらず損得計算をしないまま安易に実行してしまうケースが後を絶たない。

私の事務所では昨年来、「財産クリニック」というサービスをスタートしたが、これは所有している財産の評価から診断、処方箋の作成までの一連の業務を専用ソフト「タックスプランナーPro」で行なう相続・事業承継サービスである。

お陰様で非常に多くのお客様にご利用いただいているが、その経験を踏まえて感じるの、こうした詳細なシミュレ

ションをすることなく、勘と度胸だけで安易に実行に移される方がかなりおられるのではないかとということである。これには恐怖心すら抱くことがある。

というのも、既によそで何らかの提案を受けたという方々のケースを見てみると、その提案どおりに実行すれば、明らかにマズイ結果が招来されるからである。そこで今回の改訂に当たっては、初版刊行後に経験した様々な事例を追加するだけでなく、こうしたデメリットになるケースについてもできるだけ詳しく紹介することとした。

(しかたに・てや)

A5並製 予三二二頁 予二二〇〇円

ISBN978-4-7948-0975-9

7月刊

◎本書目次

第1章 今まで、なぜ個人経営が多かったのか?

第2章 なぜ今、法人経営なのか?

第3章 どこまで増えるアパマン経営における所得税 相続税

第4章 こんなに違う、個人経営と法人経営

第5章 法人化に当たって注意すべき重要ポイント

第6章 お奨めしたい法人経営の具体的事例紹介

第7章 やってはいけない法人化の具体例

第8章 「財産クリニック」を受けませんか?

著者 鹿谷哲也 公認会計士・税理士。1952年香川県生まれ。(株)鹿谷総合研究所代表取締役、公認会計士鹿谷会計事務所所長。著書に『[2013年改訂版]家主さん、地主さん、もっと勉強して下さい!』、『アパマン経営、なぜ失敗するのか?』等。



## 戦争を指導した 七人の男たち

マルク・フェロー／小野 潮詠

〔並行する歴史〕「われわれの時代の問題によりよく対処するために」。アナル学派の重鎮が日常生活研究の経験を生かして従来の分析を一新、新たな大戦像を提示。

ISBN978-4-7948-0971-1 近刊

四六上製 予五二〇頁 予五〇〇〇円

著者 Marc Ferro 一九二四年生まれ。ロシア史、映画史を中心とし、広い題材を扱う著述を多くもつ。雑誌「アナール」の共同主宰者、社会科学高等研究院の研究指導者。

## アエネーイス

ウエルギリウス／杉本正俊訳

知名度に比して未だ十全に味読されていないラテン文学の最高傑作を、われわれの古典とすべき、その無比の味わいを再現する新訳の挑戦。

A5上製 四八四頁 五五〇〇円

好評刊  
ISBN978-4-7948-0955-1



古今東西の最高傑作  
大規模な資金を集めて  
最新の全訳を完成


## 終わらなき戦争に抗う

中野憲志編著

〔中東・イスラーム世界の平和を考える10章〕「積極的平和主義」を超える21世紀の平和運動を模索する。

四六並製 二九六頁 二七〇〇円

好評刊  
ISBN978-4-7948-0961-2



「積極的平和主義」は  
中東・イスラーム世界の  
平和を実現しない!

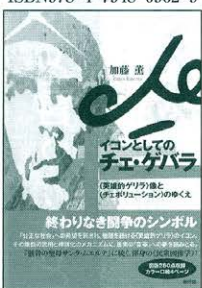
## アイコンとしての チェ・ゲバラ

加藤 薫

〔英雄的ゲリラ像と「チェボリューション」のゆくえ〕闘争のシンボルに託された「変革」の夢を探る。

A5並製 一九二頁 二二〇〇円

『北海道新聞』紹介  
ISBN978-4-7948-0962-9



「終わらなき戦争のシンボル」

## 食べる?!

ちだい

〔食品セシウム測定データ745〕745品目に放射性物質の検出状況をまとめた決定版データブック!

B5変型 二二四頁 一三〇〇円

話題沸騰! 3刷出来!  
ISBN978-4-7948-0944-5



食べる?  
食品セシウム測定データブック

## ハムレットの大学

岡山 茂

大学と人文文学の歴史と未来を、「3・11」フクシマ以後」の視座から編み直す柔軟な思考の集成。

四六上製 三〇四頁 二六〇〇円

最新刊  
ISBN978-4-7948-0964-3



ハムレットの大学  
岡山 茂

## 子どもの悲しみと トラウマ

BRIS 圭子・ホルム編／谷浜英夫訳／平田修三解説

〔津波被害後に行われたグループによる支援活動〕震災で深い心の傷を負った子どもたちのケアの要諦を学ぶ。

四六並製 二四〇頁 カワロク社 八頁 二二〇〇円

最新刊  
ISBN978-4-7948-0972-8



子どもの悲しみとトラウマ

## 読書家の時間

プロジェクト・ワークショップ編著

〔自立した読み手を育てる教え方・学び方〔実践編〕〕「読む力」を育む学習・教育の方法を深める。

A5並製 二四八頁 二〇〇〇円

最新刊  
ISBN978-4-7948-0969-8



読書家の時間

大倉幸宏著 『昔はよかった』というけれど

戦前のマナー・モラルから考える

## 戦前の公衆道徳考える

■評者 井上誉文(山陰中央新報社東京支社 記者)

かつて日本人は貧しくても高い道徳心を持っていた。それが戦後教育や経済発展の中で失われていった。政治家や言論人が「愛国心」の大切さや「教育再生」の必要性を語る時、決まり文句のように使われる表現だ。

だが、本当にそうだったのか。言説にどれほどの根拠があるのだろうか。ひょっとして過去を美化しすぎなのではないか。何度も違和感を覚えてきた。こうした疑問を出発点に、フリーランスのコピーライターである著者が、戦前の新聞記事などから

当時の公衆道徳の実態を丹念に拾い集めたのが本書だ。

取り上げたのは明治末から昭和10年代までの日本人の姿や光景。読み進めて驚くのは、車内で席を譲らない若者や駅、公園でのポイ捨てなど公共空間でのマナー違反や児童虐待、食材偽装、粗悪品の流通など、現代の日本社会で問題となっっている事象が100年前にも同じように存在していたことだ。しかも、現代より相当に劣悪な事例も少なくない。

山陰中央新報2014年1月5日

つた。それに比べて最近の若いもんは……と嘆く年長者のセリフも、実は思い込みによるものだったりするのかもしれない。

参考にした書籍や雑誌は100冊近く。大量の資料に基づく解説には説得力がある。

折しも「戦後レジーム(体制)

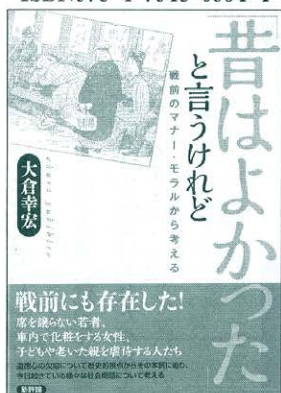
からの脱却」を掲げた第1次政権に続き、安倍政権は「教育再生」を重要課題の一つに位置付け、道徳を教科化する方向だ。初めて定めた国家安全保障戦略

には軍備の増強のほか「わが国と郷土を愛する心を養う」との表現も記した。

こうした中、著者は「過去を美化し、今を悪くとらえる見解の中には、根拠の薄い印象論が数多い」と指摘。「昔はよかった」という「幻想」に基づく歴史認識や恣意的な解釈は政治や教育の場に持ち込むべきではないと主張する。

今も一部の政治家たちは「古きよき日本」なるものへの回帰を訴える。安易なイメージで受け止めず、言葉の裏付けを求めたい。

ISBN978-4-7948-0954-4



四六並製 256頁 2000円



## 本を売る

## 本の海を泳いで

ある本を、規定の棚位置にとられず複数のジャンルの棚で販売展開することを、書店では「併売」という。例えば、私は職場であるジュンク堂書店吉祥寺店で、キン・シオタニ著『人生という限りある時間のなから永遠をみつけない』とする「青年」(新評論刊)を文芸書のライトエッセイの棚で登録販売しているが、芸術書のイラスト画集の棚、雑誌のカルチャーの棚でも併売をしてもらっている。著者が吉祥寺をフィールドとするイラストレーターであり、また私が個人的にファンだからということもあってだが、ぜひ多くの方々にこの本と出会ってもらいたいと願う、他ジャンルにも協力をお願いしている。

これは!!と思える本が出版された時は嬉しい。それが売れてくれたらもっと嬉しい。だから「こんな本でした。面白いですよ。きっとそちらの棚でも併売したら売れると思います」と他ジャンル担当に売り込みに行くこともしばしば。また自分から「この本うちでも置きたいから併売させて」とお

願いにいくこともある。

他ジャンルの本を多く併売している棚は、担当者の個性が出て味わいのある棚になる。普段は離れた場所にある本が隣同士になることにより、本と本の出会い、お客様と本との出会いを演出できる。もちろん書店員として自分の担当ジャンルの売り上げを伸ばすことは当然の使命だが、イコール自分の担当分野だけに専心していればいいということではない。常にお客様の目線に立って、魅力のある棚を作るためには、自分の担当ジャンル以外の本にもしっかりとアンテナをはって、どんな本が出版され、どの売り場でどんな売り方ができるのかを考え続けなければならぬ。そのために毎日の新刊検品作業で全てのジャンルの本に目を通したり、出版社からの新刊案内やPR誌をチェックしたり、併売したり、併売してもらったり

なにか良いものはないか、なにが出来るか、これでどうだ! 次はこれだ!...と試行錯誤している、まるで本の海を泳いでいるような気分になる。

ジュンク堂書店吉祥寺店  
川合雄高

本誌表示価格はすべて税抜です。

## 書評日誌(3・10~3・27)

## ●書評 ●紹介 ●関連記事

- 3・10 ④北海道新聞『七日食べたら鏡をごらん』(箕谷 修氏談)
- 3・13 ④毎日新聞(京都版)『生き続ける300年の織りモノづくり』
- 3・15 ④ふえみん『食べる? 食品セシウム測定データ745』
- 3・16 ④サンデー毎日『フクシマ・ノート』(梯久美子)  
④信濃毎日新聞・神戸新聞・大分合同新聞『フェアな未来へ』
- 3・23 ④日本経済新聞『ダンスシューズで雪のシベリアへ』
- 3・27 ④沖縄タイムス『フェアな未来へ』
- 3 月 ④本は王さま2014(さいたま市中央図書館)『ギャザリング・ブルー』  
④クレヨンハウス通信『食べ

る? 食品セシウム測定データ745』

3月号 ④ふらんす『フクシマ・ノート』(増田一夫)

[12・19]④毎日新聞(京都版)『生き続ける300年の織りモノづくり』(著者談)、  
1・2月④みすず(読書アンケート)『「昔はよかった」と言うけれど』(石原千秋)・『フクシマ・ノート』(大野英士)、2014冬号④中央評論『人道的帝国主義』(西海真樹)・『フクシマ・ノート』(大田美和)

## 4月の増刷

## 作家の時間

〔「書く」ことが好きになる教え方・学び方[実践編]〕  
プロジェクト・ワークショップ 編 2刷 1900円

## 「昔はよかった」と言うけれど

〔戦前のマナー・モラルから考える〕  
大倉幸宏 4刷 2000円

## 本を読む

「昔はよかった」と言うけれど、衝撃的な内容でした。多くの人に読んで知ってもらいたいです。筆者は「日本の道徳は劣化している」という意見への疑念を出発点にしていますが、同時に、外国に対する日本の「おごり」を批判的に捉える上でもたいへん参考になりました。「衣食足りて礼節を知る」ということのみならず、権利意識や社会観、ウチとソトなど、いろいろな要素を考える良いきっかけになりました。(川崎市 西井和弥 50歳 語学教師)

「昔はよかった」と言うけれど、安倍内閣が「道徳の教科化」を目論んでいることに危惧を抱いています。まさに「昔はよかった」的な論法によって、短絡的かつ俗耳に入りやすい形で「修身」の復活が唱えられています。そんなとき、本書が目止まりました。実証的な内容に、我が意を得たりの思いです。(北海道厚真町 宮部

秀昭 67歳 (無職)

食べる？

食品セシウム測定データ745 政府自身が全国に汚染を広げようとしているかのように思える中で、このように汚染が見つかった食品の数値が一覧できるというのはとても有り難いです。もちろん数値は日々変化していくと思いますが、セシウムを取り込みやすいものを避けるなど、食品ごとの傾向を把握して対処するために活用しています。(福岡市 手束裕子 31歳 歯科衛生士)

## 好評刊

フェアな未来へ

「誰もが予想しなから誰も自分に責任があるとは考えない問題に私たちがどう向き合っていくべきか」  
ヴォルフガング・ザックス・テラルマン・サンタリウス編  
川賀美幸 訳 録 三〇〇円

古民家は語る

「受け継がれてきた暮らし」  
吉見靜子 二五〇円

ノンフォーマル教育の可能性

「リアルな生活に根ざす教育」  
丸山英樹・太田美幸 編 三〇〇円

## 編集部から

新刊「哲学者内山節の世界」は、「活動する哲人」の思想のエッセンスであると同時に哲学入門書でもあります。内山氏は福島第一原発事故の直後から、原子力がもたらす危機を「巨大システム依存型社会」の必然的結末と看破していました。身動きのとれなくなったシステム・モンスターの断末魔につきあうのか、それとも、そもそも手に負えないほどのシステムを持つか否かを再考する地点から出発するのか——本書は、震災後、火急の課題となっている「自然と社会のもつれ」を解きほぐすヒントにも溢れています。ぜひ一読下さい。

## 営業部から

▼「食べる？ 食品セシウム測定データ745」の著者ちだ氏が、いよいよ九州地区でトークイベントを開催します。(計二回)  
①日時 六月二〇日(金)  
午後七時〜(午後六時三〇分開場) 会場 ブックスキューブリック箱崎店2F カフェ&ギャラリ！ キューブリック

※ご予約・お問い合わせ先  
〇九二一六四五二〇六三〇 (ブックスキューブリック箱崎店)  
②日時 六月二二日(土)  
午後三時〜(午後二時三〇分開場) 会場 長崎書店3F リトルスターホール  
※ご予約・お問い合わせ先  
〇九六一三三五一〇五五五 (長崎書店)  
なお、イベントの詳細につきましては、それぞれの問い合わせ先へご確認ください。

## SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。  
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことに、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。  
ご入会希望の方は小社日Pフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の入会確認証をお送りいたします。